

昭和三十年六月十三日提出  
質問第一五号

復員者に軍隊手帖等返還に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和三十年六月十三日

提出者 並木芳雄

衆議院議長 益谷秀次殿

復員者に軍隊手帖等返還に関する質問主意書

東京都八王子市二分方三五菅沼寅男氏は、昭和十四年十二月十日現役志願兵として赤坂歩兵第一聯隊に入隊、昭和二十一年五月十一日博多に上陸し、復員まで外地（内蒙北支中支）に勤務していたが、復員時博多において返納した軍隊手帖、功績名簿等を記念として手もとに保存したいと熱望している。

復員時の詳細は次の通りである。

復員上陸地 昭和二十一年五月十一日九州博多港

部隊名 支那派遣軍第六方面軍戦車第三師団防空隊第五中隊

官氏名 陸軍砲兵曹長 菅沼寅男

復員書類、軍隊手帖、功績名簿、戦時名簿、恩給書類等は、中隊長陸軍大尉木村義郎及び人事係陸軍准尉佐藤一布の二氏が携行し、支那方面軍復員事務局大宰府に残務整理者として残留後日

復員した。右のごとき殊勝な希望に対しては、これに応ずべきものと思われ、関係書類を本人に返還してもらいたいと思うが、可能であるかどうか。もしできれば、いかなる手続きをすればよいかお伺いしたい。

右質問する。